

庁舎整備の基本理念・基本方針と新庁舎に求められる機能

庁舎整備の基本理念・基本方針		区役所機能へのアプローチ 【 】=整備位置検討での評価項目	他都市の事例（機能、整備方針など）
項目	内容		
1 区民全体のシンボル、区の一体感の醸成に寄与する庁舎	<p>■北区自治協議会から提出された意見書に「区役所は、区民全体のシンボリック的存在であり、区の一体感の醸成に寄与するもので、区の将来像も考慮した整備位置としていただきたい。」と記載されています。</p> <p>■また、「区役所は、区民にとって心のよりどころであってほしい。」との北区自治協議会委員からの意見もありました。</p> <p>■区役所が区民全体のシンボリック的存在であり、区の一体感の醸成に寄与するためには、区民が誇りと親しみを持てる区役所の整備を進めることが重要です。</p> <p>■具体的には、新潟市自治基本条例で規定する次の区役所の役割を果たす機能をハードとソフトの両面から実現していくことが必要です。</p> <p>①地域のまちづくりの拠点として、地域の課題を発見して迅速かつ的確な解決を図ること。</p> <p>②協働の拠点として、自主的かつ自立的な地域活動及び非営利活動を支援すること。</p> <p>③市民に必要な行政サービスを効果的、効率的かつ総合的に提供すること。</p>	<p>【利便性／人口分布から見た優位性】</p> <p>《課題1⇒区の一体感醸成機能！》</p> <p>・整備位置の検討で整備エリアに対し「公共施設が豊栄地区に集中しており、駅北側であれば、北地区に配慮した位置に近づき、区の一体感の醸成につながる」「人口重心から離れているため、区の一体感の醸成につながらない。」との自治協議会委員などから意見がありました。</p> <p>○ 区の一体感の醸成につながる機能の具体的な検討が必要です。</p> <p>○ 区民のシンボリック的存在を実現するため、外観デザインを含めた建築デザインコンセプトの検討が必要です。</p>	<p>柏崎市</p> <p>○ふれあい交流機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民と行政が交流できる空間を創出することとし、イベントの開催が可能なフリースペースなどの設置について検討します。期日前投票所としての活用も視野に入れます。 <p>新発田市</p> <p>○市民機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協働 市民、町内会、ボランティア団体、NPO、企業などと行政とが連携・協働するための情報交換の場を確保するとともに、各種団体が、まちづくり関連の情報を入手したり、活動情報を発信できる機能を整備します。 <p>西区</p> <p>○区民との協働の場となる区役所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティ協議会や大学・短大などと行政との協働によるまちづくり活動にも使用できる多目的スペースを配置します。 <p>○区の一体感づくりの拠点となる庁舎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広い区域を持つ西区は、各地区それぞれに古くからの伝統や特色がありますが、西区としての一体感をつくるため、これらを紹介するスペースを確保します。
2 防災拠点としての庁舎	<p>■3.11 大震災により、一部自治体では行政庁舎が損壊し、防災拠点としての機能が失われ、また、その後の行政サービスの提供も困難になる状況が発生しました。北区役所は、万が一の災害の際に区民を守るための拠点であり司令塔となる必要があり、災害に強い庁舎とすることが求められます。</p> <p>■また、本州日本海側唯一の政令指定都市として、他の地域に大規模災害が発生した際には、物資の輸送や被災者の受け入れなど、様々な支援を行うための拠点となることが求められます。</p> <p>■地震や大雨など、様々な災害に対応できる庁舎を建設する必要があります。</p>	<p>【防災拠点性／立地の安全性】</p> <p>《課題2⇒水害対応機能！》</p> <p>・北区では過去に大きな水害被害が発生しており、特に「水害時の安全性」に区民の高い関心があります。</p> <p>○ 水害に対応した防災機能が求められています。（例：建物の強度、設備の防水性能、自家発システムなど）</p> <p>【防災拠点性／災害対応性】</p> <p>《課題3⇒災害対応機能！》</p> <p>・自治協議会委員から災害時の救援活動スペース※を庁舎と一緒に整備する考え方が示されました。</p> <p>○ 整備エリア内の公共施設との連携利用や文化会館駐車場を含めた、災害時の総合的な利用検討が必要です。</p>	<p>柏崎市</p> <p>○防災・危機管理機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庁舎は、防災拠点施設として必要な強度・構造を確保します。 ・防災対策本部会議室と災害対策室を設置します。 ・災害時において、県や警察、消防などの関係機関と連携できるように、これらの機関の活動スペースの設置について検討します。 ・防災備蓄倉庫などの設置を検討します。 <p>※救援活動スペースとは 自衛隊やボランティア等の活動拠点、物資の集積やヘリコプターの発着、車両の置き場など、災害応急対策や復旧復興活動を行うスペース。また、平常時は、防災公園等として利用するもの。</p> <p>※指定避難所＝豊栄地区公民館、葛塚コミセン 指定避難所兼福祉避難所＝さわやか老人福祉センター</p>

庁舎整備の基本理念・基本方針		区役所機能へのアプローチ 【 】＝整備位置検討での評価項目	他都市の事例（機能、整備方針など）
項目	内容		
<p>3 来庁される区民にやさしい庁舎</p>	<p>■区役所庁舎は、市民等にとって分かりやすくアクセスしやすい場所にあり、庁舎に入れば行きたい所属がすぐに分かり、目的の場所にすぐ行ける庁舎とする必要があります。</p> <p>■また、プライバシーに配慮し、個人情報の保護や情報セキュリティを確保するため、十分な窓口カウンターや相談室などの設備も必要となります。</p> <p>■車で来られる方のための駐車場も十分に確保する必要があります。</p> <p>■高齢者や障がい者に配慮したユニバーサルデザインを徹底し、利便性の高い庁舎とする必要があります。</p> <p>□総合窓口化を進めることで、区民の利便性の向上を図っていく必要があります。</p> <div data-bbox="388 674 1409 1325" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">案内と窓口と相談機能のイメージ</p> <p>柏崎市 総合窓口化の イメージ図</p> <p>・迷わない、分かりやすい ・早く手続が終わる。 ・安心して相談ができる。</p> <p>総合窓口の整備と関係する担当課の同一フロアへの集約を目指し、その手法を検討する。</p> </div>	<p>【利便性／交通手段等】</p> <p>《課題4⇒公共交通アクセス機能！》</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年の3月に実施した交通手段調査では、自動車での来庁者が85%、自転車バイク7%、徒歩5%、公共交通のバス・タクシー・電車が各1%となっています。 今後とも公共交通の充実を図り、超高齢社会に対応したまちづくりが必要です。 <p>○バスストップやタクシー乗場の配置も公共交通のアクセス性の向上では重要です。 (例：快適に公共交通の利用ができる設備等)</p> <p>《課題5⇒駐車場機能！》</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治協議会委員からも十分な来庁者駐車場の確保が疑問との意見があります。また、公用車駐車が離れた所にあり、業務の負担となっています。 <p>○整備エリアには、複数の公共施設が集積しているため、利用者が安全かつ効率的に施設の連携利用ができる工夫が必要です。 (例：駐車場の施設区分、表示サイン、車両の進入ルート計画、歩行者の動線確保のための施設)</p> <p>《課題6⇒窓口機能！》</p> <ul style="list-style-type: none"> 窓口サービスの利便性の向上が求められます。 <p>○総合窓口化にあわせた待合所やカウンタースペース等の確保などの検討が必要です。</p>	<p>柏崎市</p> <ul style="list-style-type: none"> ○案内機能・窓口機能・相談機能 <ul style="list-style-type: none"> ・手続名や業務名で表示された案内や、番号で表示された案内、視認性を重視した案内など、多言語に対応したサインシステムの整備について検討します。 ・総合窓口化を検討する。(資料P11) ○行政運営・管理機能 <ul style="list-style-type: none"> ・市民参加型の協議が開催される場合に備え、高齢者や障がい者、乳幼児連れなどへの配慮について検討します。 ○利便性向上機能 <ul style="list-style-type: none"> ・多様な市民に対応するため、コンビニ又は売店、ATM、多機能トイレ、授乳室などの設置について検討します。 ○交通機能 <ul style="list-style-type: none"> ・バス停留所は、庁舎に接するよう、設置について検討します。 <p>西区</p> <ul style="list-style-type: none"> ○さまざまな相談や手続きにすばやく対応できる庁舎 <ul style="list-style-type: none"> ・区民のさまざまな相談や手続きに、よりわかりやすくスムーズに目的を達していただけるようワンストップの導入を図り、区民が利用しやすい窓口となる庁舎とします。 ・来庁者が適切に目的の窓口に行けるように、メインフロアには「さわやかコンシェルジュ（窓口案内人）」を配置し、来庁者への案内や来庁者からの問い合わせに対応するため、コンシェルジュデスクを設置します。
<p>4 次代につながる庁舎</p>	<p>■人口推計を見ると、本市の人口は減少する傾向にあり、北区も例外ではありません。また、年齢別人口では、少子高齢化が、さらに進んでいきます。人口減少や少子化超高齢化により行政サービスに対する需要も変化していくことが想定されますが、何十年か先の需要に合わせた庁舎を建ててしまえば、現在の需要に合わないこととなるため、現実的ではありません。</p> <p>■また、区のあり方検討や区役所業務の事務分掌条例化、コンパクトシティの流れなど、様々な状況を踏まえた庁舎とする必要があります。</p> <p>■これらのことから、庁舎レイアウトを考える際には、人口減少、財産経営推進計画に基づく総量削減、サービス機能の維持や区のあり方検討等による行政サービスの見直し、職員配置の適正化等の検討を踏まえながら庁舎レイアウト等を検討するとともに、見直し等を行った後に生じるスペースを防災や福祉、まちづくり等に活用できるよう、庁舎のレイアウトを柔軟に変更できるものとする工夫が必要です。</p> <p>■次代に健全な地球環境を引き継いでいくために、効率的なエネルギー利用や環境負荷の低減を図るなど、環境に優しい庁舎としていく必要があります。</p>	<p>《課題7⇒フレキシブルな庁舎機能！》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少など社会変化に対応したフレキシブルな機能を持つ庁舎整備が必要です。 (※外部有識者から整備候補位置の評価検証で指摘があった内容です。) <p>○将来、行政組織の見直しなどで、空きスペースが出た場合やICT（情報通信技術）などの進歩と活用で、窓口サービスの提供が減少した場合など、空きスペースが出る可能性があります。また、国の臨時給付金申請やマイナンバーカードの交付窓口など臨時のスペースが必要な場合があります。これらに柔軟に対応した空間デザインの検討が必要となります。</p>	<p>柏崎市</p> <ul style="list-style-type: none"> ○行政運営・管理機能 <ul style="list-style-type: none"> ・組織機構の変化に柔軟に対応できる執務空間とします。 ・会議室は、多様な規模や用途に対応できるよう、可動式間仕切りなどの導入について検討します。